



■西通掛之上線の改修

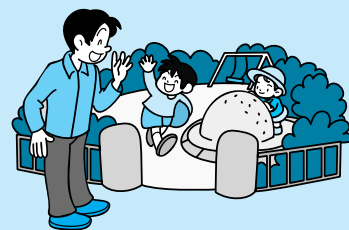
駅前地区へとつながる西通掛之上線。改修により幅が広く、見通しの良い道路に生まれ変わりました。



■公園の整備

地区の東に位置し、ユニークな形状を持つ土地は、防災やレクリエーションの拠点となる公園として整備されます。

公園の基本構想は、地区に住む皆さんがワークショップを重ねて意見を出し合いました。



土地区画整理事業 完成まであとわずか！

JR袋井駅周辺の区画整理事業として平成10年12月から始まった駅前第二（掛之上）地区の土地区画整理事業が、施行開始から10年経ちました。最近では、西通掛之上線の整備や高尾誇線道橋（通称・陸橋）の架け替えなども進み、生まれ変わる地区の姿がよりはっきりと見え始めています。

問 区画整理課公共施行係 ☎44-3126

◆事業の始まり

JR袋井駅のすぐ東に位置する掛之上地区は、昔から市の中心市街地として栄えていました。

しかし、道路や水路などの都市基盤が未整備のまま一層の市街化が進んだため、主要道路から離れたところに住宅が密集化して建ち並んだり、車のすれ違いも困難な細い道路がそのまま残っていたりするなど、生活や防災などの面で様々な問題を抱えていました。

このため、都市計画道路をはじめとして、区画道路や上下水道、公園など、都市としての公共基盤を整備・改善することで、地区に住む方々や訪れる皆さんの安心と利便性を高めようと始められたのが、この袋井駅前第二地区土地区画整理事業です。

◆駅周辺地区とつながるまちづくりにも

本事業では、地区内のすべての住宅が道幅6メートル以上の道路

■高尾誇線道橋の架け替え

陸橋の通称で、市民に親しまれてきた高尾誇線道橋。橋には、太平洋戦争中にアメリカの戦闘機から機銃掃射を受けたあとが今も残っています。

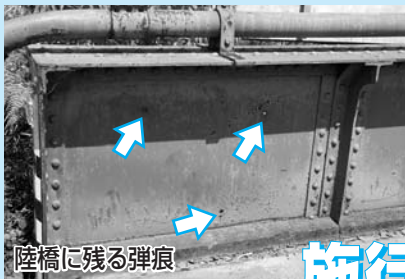
老朽化やその幅員の狭さによる交通渋滞解消のため、区画整理事業と平行して架け替えが行われることになりました。

現在、新しい橋を建設中で、今年10月ごろには開通されます。

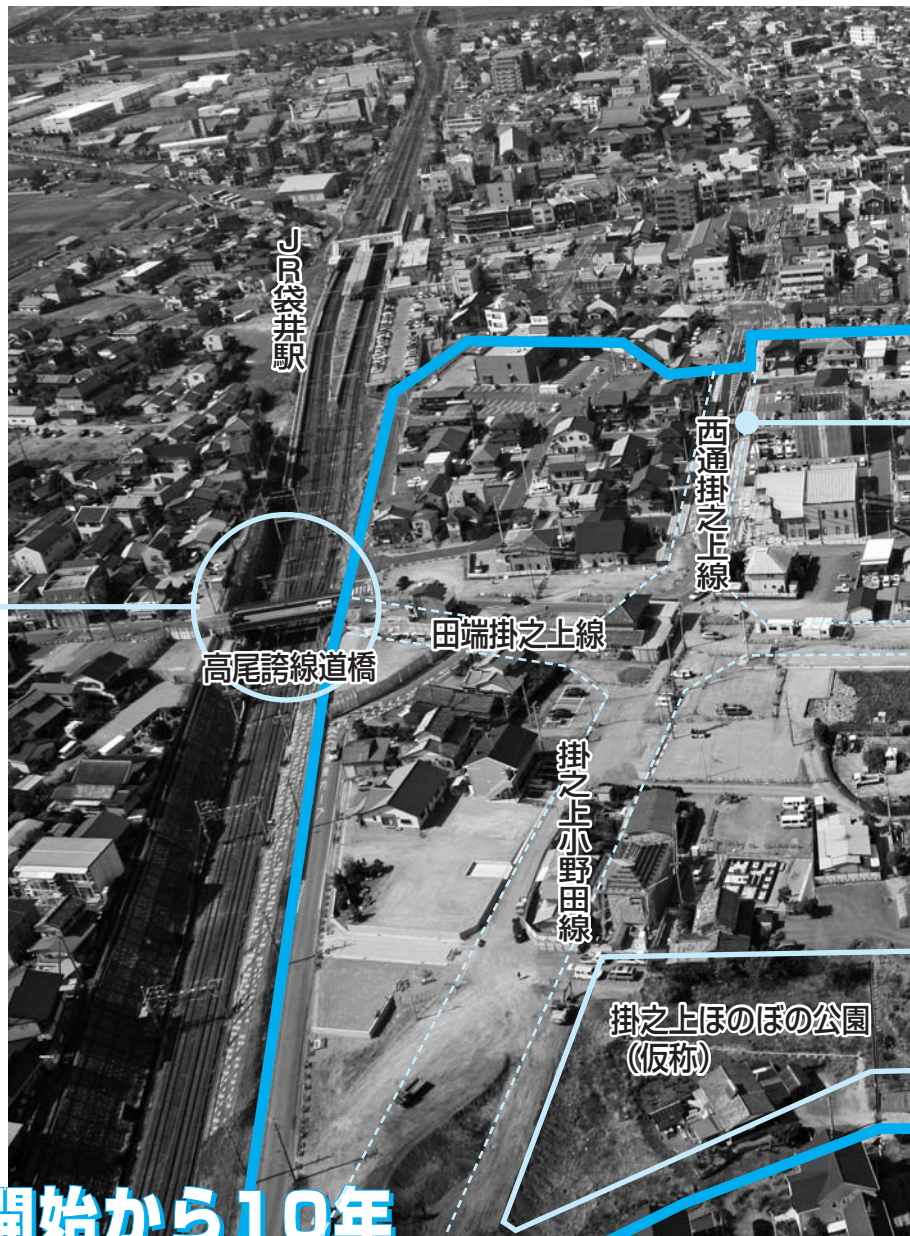
これまでの陸橋は、架け替えに伴い撤去されますが、弾痕部位はモニュメントとして保存される予定です。



高尾誇線道橋(左)と建設中の新しい橋(右)



陸橋に残る弾痕



施行開始から10年

袋井駅前第二地区

袋井駅前第二地区 土地区画整理事業概要

- 施工者 袋井市
- 施行面積 8.2ha
- 施工期間 平成10年12月～平成23年3月(予定)
- 事業費 65億3,000万円
- 進捗状況
 - ・執行率 執行率62%
(事業費40億6,900万円)
 - ・建物移転 121戸のうち
106戸移転済
 - ・仮換地指定率 100%

このまちがどのように育っていくのか楽しみです。

地区の方々と通行される皆さんには、工事による交通規制などで今しばらくご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

◆事業完了に向けて

まちの姿は、そこで暮らす人や市全体のイメージを印象付けます。

これらの道路整備は、地区に住む方はもちろんのこと、JR袋井駅を中心に市民の皆さんが市内を東西に行き来するうえでも大変便利になり、市の玄関口であるJR袋井駅周辺、そして市全体の活性化へとつながるものです。

と接するようになるほか、駅前地区に通じる主要道路の西通掛之上線、大門・法多地区へとつながる田端掛之上線なども、より往来がしやすいよう整備されます。